

## 第1項: キットID

### 1.1 キット識別子

製品名 : β-Glucan Assay Kit (Yeast & Mushroom)  
製品コード : K-YBGL

### 1.2 キット安全情報シートの供給者の詳細

仕入先  
Megazyme  
A98 YV29  
IrelandCounty WicklowBrayBray Business Park  
T +353 12861220 - F +353 12861264  
[cs@megazyme.com](mailto:cs@megazyme.com) - [www.megazyme.com](http://www.megazyme.com)

輸入業者  
ネオジェンジャパン株式会社  
220-0012  
神奈川県横浜市西区みなとみらい3-3-3横浜コネクトスクエア12階  
T 045-211-4615

## 第2項: 一般事項

概要 : このテストキットは、以下に記載されている複数の個別コンポーネントで構成されており、それぞれに安全データシート (SDS) が付属している場合があります。物品、および固定化されてアクセスできない化学物質には、このパッケージに安全データシートは付属していません。

## 第3項: キット内容

名前	概要	重量 or 数量	量	ユニット	GHS JP 分類
β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 1)	このテストキットは、以下に記載されている複数の個別コンポーネントで構成されており、それぞれに安全データシート (SDS) が付属している場合があります。物品、および固定化されてアクセスできない化学物質には、このパッケージに安全データシートは付属していません。		2	pcs (pcs)	呼吸器感作性 区分1, H334
β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 2)	このテストキットは、以下に記載されている複数の個別コンポーネントで構成されており、それぞれに安全データシート (SDS) が付属している場合があります。物品、および固定化されてアクセスできない化学物質には、このパッケージに安全データシートは付属していません。		1	pcs (pcs)	金属腐食性化学品 区分1, H290 急性毒性(経皮) 区分4, H312 皮膚腐食性/刺激性 区分2, H315 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1, H318

# β-Glucan Assay Kit (Yeast & Mushroom)

## キット 安全情報シート (SIS)

名前	概要	重量 or 数量	量	ユニット	GHS JP 分類
β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 3)	このテストキットは、以下に記載されている複数の個別コンポーネントで構成されており、それぞれに安全データシート (SDS) が付属している場合があります。物品、および固定化されてアクセスできない化学物質には、このパッケージに安全データシートは付属していません。		1	pcs (pcs)	皮膚腐食性/刺激性 区分2, H315 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2, H319 呼吸器感作性 区分1, H334 水生環境有害性 短期 (急性) 区分3, H402 水生環境有害性 長期 (慢性) 区分3, H412
β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 4)	このテストキットは、以下に記載されている複数の個別コンポーネントで構成されており、それぞれに安全データシート (SDS) が付属している場合があります。物品、および固定化されてアクセスできない化学物質には、このパッケージに安全データシートは付属していません。		1	pcs (pcs)	区分に該当しない
β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 5)	このテストキットは、以下に記載されている複数の個別コンポーネントで構成されており、それぞれに安全データシート (SDS) が付属している場合があります。物品、および固定化されてアクセスできない化学物質には、このパッケージに安全データシートは付属していません。		1	pcs (pcs)	区分に該当しない

### 第4項: 一般的助言

データなし

### 第5項: 取扱いの指針

一般的措置	: 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。 物的損傷を防止するためにも流出したものを回収すること。
環境に対する注意事項	: 環境への放出を避けること。
安全な保管条件	: 涼しいところに置き、日光から遮断すること。
技術的対策	: 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
安全取扱注意事項	: 作業所の十分な換気を確保する。 個人用保護具を着用する。

### 第6項: 応急措置

眼に入った場合	: 予防措置として眼を水ですすぐ。
---------	-------------------

# β-Glucan Assay Kit (Yeast & Mushroom)

## キット 安全情報シート (SIS)

飲み込んだ場合	: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚は多量の水で洗浄する。
応急措置 一般	: 気分が悪い場合は医師の診察を受ける。
症状/損傷 眼に入った場合	: 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 飲み込んだ場合	: 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 吸入した場合	: 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 皮膚に付着した場合	: 通常の条件下では特に無し。
その他の医学的アドバイスまたは治療	: 対症的に治療すること。

### 第7項: 火災時の措置

消火方法	: 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器 完全防護服
爆発の危険	: 直接に爆発する危険は全くない。
火災危険性	: 火災の危険は一切ない。
火災時の危険有害性分解生成物	: 有毒な煙を放出する可能性がある。

### 第8項 輸送上の注意

#### 国際規制

	国連勧告 (UN RTDG)
国連番号	規制されていない
国連正式品名	規制されていない
輸送危険物分類	規制されていない
容器等級	規制されていない
環境有害性	規制されていない

#### 国内規制

その他の情報	: 補足情報なし
--------	----------

### 第9項: その他の情報

データなし

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 1)  
製品タイプ : Megazyme -- [Megazyme]  
製品コード : K-YBGL (Bottle 1)

### 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 分析用薬剤、化学研究及び開発

### 会社情報

#### 仕入先

Megazyme

A98 YV29

IrelandCounty WicklowBrayBray Business Park

T +353 12861220 - F +353 12861264

[cs@megazyme.com](mailto:cs@megazyme.com) - [www.megazyme.com](http://www.megazyme.com)

#### 輸入業者

ネオジェンジャパン株式会社

220-0012

神奈川県横浜市西区みなとみらい3-3-3横浜コネクトスクエア12  
階

T 045-211-4615

### 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : +353 12861220 [9 am to 5 pm GMT - Monday to Friday]

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

#### 物理化学的危険性

爆発物	分類できない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	分類できない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	分類できない
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類できない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	区分に該当しない
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	分類できない

#### 健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	分類できない
急性毒性 (経皮)	分類できない
急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	区分1
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分に該当しない
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

### ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 危険

危険有害性 (GHS JP)

: 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ (H334)

注意書き (GHS JP)

安全対策

: 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。(P261)  
[換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。(P284)

応急措置

: 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
(P304+P340)  
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。(P342+P311)

廃棄

: 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。  
(P501)

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

: 混合物

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
Amylase, gluco-	≥ 1 - < 5	-	-	9032-08-0
Endo-Inulinase	≥ 0.1 - < 0.5	-	-	9001-57-4
α -Amylase (Bacillus licheniformis)	≥ 0.5 - < 1	-	-	9000-85-5
Sodium azide	< 0.1	(1)-482	既存化学物質	26628-22-8

### 4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般

: 気分が悪いときは医師に連絡すること。

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

吸入した場合	： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 呼吸器系疾患を発症した場合:毒物センターまたは医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合	： 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合	： 予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合	： 気分が悪いときは医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護	： 応急措置を行う者は、自身の保護に注意を払い、推奨される個人用保護具を使用すること（第8項を参照）。

### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合	： 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。
症状/損傷 皮膚に付着した場合	： 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 眼に入った場合	： 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 飲み込んだ場合	： 通常の条件下では特に無し。

### 医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療	： 対症的に治療すること。
-------------------	---------------

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	： 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	： 強い水流は使用しない。
火災危険性	： 火災の危険は一切ない。
爆発の危険	： 直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物	： 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法	： 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	： 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	： 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。 物的損傷を防止するためにも流出したものを回収すること。
-------	--

### 非緊急対応者

保護具	： 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置	： 漏出エリアを換気する。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。

### 緊急対応者

保護具	： 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置	： 不要な職員を退避させる。 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 1)

JIS Z 7253: 2019に準拠

### 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 砂または土により、すべての拡散した製品を吸収する。  
流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。  
可能であればリスクなく漏出をせき止める。

浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。

その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策 : データなし

安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。  
個人用保護具を着用する。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避けること。

接触回避 : データなし

衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
製品取扱い後には必ず手を洗う。

### 保管

安全な保管条件 : 涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料 : データなし

技術的対策 : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。

容器包装材料 : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。

呼吸用保護具 : [換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具 : 保護用手袋

眼の保護具 : 安全メガネ

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 :

臭い : データなし

pH : データなし

融点 : データなし

凝固点 : データなし

沸点 : データなし

引火点 : データなし

自然発火点 : データなし

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (Vol-%)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

### 10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

### 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 1)	
未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の2.56%は未知の急性毒性(経口)の成分で構成されている 混合物の49.14%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の99.14%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている
Endo-Inulinase (9001-57-4)	
LD50 経口 ラット	> 2000 mg/kg BW Animal: rat, Guideline: OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity), Guideline: OECD Guideline 420 (Acute Oral Toxicity - Fixed Dose Method)
LC50 吸入 - ラット	> 5.13 mg/l air Animal: rat, Guideline: OECD Guideline 403 (Acute Inhalation Toxicity), Guideline: OECD Guideline 403 (Acute Inhalation Toxicity)
Sodium azide (26628-22-8)	
急性毒性 (経口)	ラットのLD50 = 45 mg/kg (DFGOT vol.20 (2003) ) から区分2とした。
急性毒性 (経皮)	ウサギのLD50 = 20 mg/kg (ACGIH (2001) ) から区分1とした。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データなし。

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Sodium azide (26628-22-8)	
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足で分類できない。なお、ラットLC50 = 37mg/m <sup>3</sup> (RTECS (2008)) が報告されているが、ばく露時間が不明である。
LD50 経口 ラット	27 mg/kg BW (Rat, Experimental value, Oral)
LD50 経口	45 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	19 – 48 mg/kg BW (Rabbit, Inconclusive, insufficient data, Dermal)
LD50 経皮	20 mg/kg
LC50 吸入 - ラット	0.05 – 0.52 mg/l (EPA OPPTS 870.1300: Acute Inhalation Toxicity, 4 h, Rat, Male / female, Experimental value, Inhalation (dust), 14 day(s))
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	0.054 – 0.52 mg/l/4h

皮膚腐食性／刺激性 : 分類できない

Sodium azide (26628-22-8)	
皮膚腐食性／刺激性	ウサギの皮膚に適用した試験の結果、適用4時間後に腐食性を示し、6匹中3匹が死亡したとの報告 (DFGOT vol.20 (2003)) に基づき区分1とした。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 分類できない

Sodium azide (26628-22-8)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	皮膚腐食性が区分1なので、眼も「区分1」とした。

呼吸器感作性 : 吸入するとアレルギー、ぜん (喘) 息又は呼吸困難を起こすおそれ

Sodium azide (26628-22-8)	
呼吸器感作性	データなし。

皮膚感作性 : 分類できない

Sodium azide (26628-22-8)	
皮膚感作性	データなし。

生殖細胞変異原性 : 分類できない

Sodium azide (26628-22-8)	
生殖細胞変異原性	in vivo試験のデータがなく分類できない。なお、in vitro変異原性試験では、微生物復帰変異試験で陽性の結果 (ACGIH (2001))、ヒトリンパ球またはチャイニーズハムスター卵巣細胞を用いた染色体異常試験、マウスリンパ腫細胞を用いた遺伝子突然変異試験ではいずれも陰性結果 (DFGOT vol.20, (2003)) であった。強い変異原性は微生物に特有のもののみなされている (DFGOT vol.20 (2003))。

発がん性 : 分類できない

Sodium azide (26628-22-8)	
発がん性	ACGIHによりA4に分類されている (ACGIH-TLV (2005)) ので「区分外」とした。なお、ラットを用いた2年間経口投与による試験で、用量依存的な体重増加抑制と高用量群における生存率の低下が見られたが、発がん性の証拠は見出されていない (NTP TR389 (1991))。

生殖毒性 : 分類できない

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Sodium azide (26628-22-8)	
生殖毒性	ハムスターの皮下に埋め込まれた浸透ミニポンプから妊娠7～9日目にばく露した結果、2/15匹が死亡、早期吸収の有意な増加、脳ヘルニアの発生が認められている（DFGOT vol.20（2003））が、併せて、証拠文書として不十分なため出生前の毒性評価には使用できないと述べられている（DFGOT vol.20（2003））。かつ、投与方法も特殊であることから「分類できない」とした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない

Sodium azide (26628-22-8)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	経口摂取による中毒事故で心臓の強い鼓動、気絶、心臓虚血を呈した5人の実験技術者の例（NTP TR.389（1991））、10～20gを摂取後、精神状態の変化、顕著なアシドーシス、心律動異常、心拍数低下、低血圧を招き死亡した化学者の例（NTP TR.389（1991））、極めて少量摂取した場合でも頻脈、過換気、低血圧を示した実験技術者の例（HSDB（2009））などの症例報告がある一方、本物質の標的器官は心臓血管系であり、末梢血管の拡張を起こし血圧低下を招くと記述されている（DFGOT vol.20（2003））ことから、区分1（心血管系）とした。また、上述のヒトの事例ではさらに症状として、めまい、気絶、精神状態の変化、非心臓性の肺水腫、代謝性アシドーシスが見られ、また、本物質を数グラム摂取した自殺例（ACGIH（2001））の所見として、肺水腫と脳水腫の記載があることから区分1（肺、中枢神経系、全身毒性）とした。なお、動物試験では経口投与により、ラットで心拍数低下と全身痙攣（DFGOT vol.20（2003））、ウサギで血圧低下と心臓障害（PATTY（5th.2001））が記録されている。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない

Endo-Inulinase (9001-57-4)	
NOAEL (経口、ラット、90日)	6400 mg/kg BW Animal: rat, Guideline: OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity Study in Rodents), Guideline: EPA OPPTS 870.3100 (90-Day Oral Toxicity in Rodents), Guideline: other:

Sodium azide (26628-22-8)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットの13週間反復経口ばく露試験の最高用量（20mg/kg/day）で臨床症状として嗜眠、努力呼吸、死亡、組織学的病変として大脳と視床に壊死が観察された（NTPTR389(1991)）。さらに、2年間反復経口ばく露試験では最高用量（10mg/kg/day）で生存率の低下が見られ、この低下は試験物質ばく露に起因する脳の壊死と心血管虚脱が原因である述べられている（NTPTR389(1991)）ことから、区分1（中枢神経系、心血管系）とした。また、上記のラット13週間経口ばく露試験の20mg/kg/dayでは、肺のうっ血、出血と水腫も観察されているので区分2（肺）とした。なお、イヌの反復経口ばく露試験（1～10mg/kg/day）でも運動失調が見られ、大脳の組織形態学的変化が報告されている（HSDB(2009)）が、ヒトのばく露に関しては重大な有害影響の発生を伝える報告は特に見当たらない。
NOAEL (経口、ラット、28日)	10 mg/kg bw/day

誤えん有害性 : 分類できない

Sodium azide (26628-22-8)	
誤えん有害性	データなし。
動粘性率	Not applicable (solid)

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

### 12. 環境影響情報

#### 生態毒性

- 生態系 - 全般 : 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
- 水生環境有害性 短期 (急性) : 区分に該当しない
- 水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分に該当しない

Endo-Inulinase (9001-57-4)	
EC50 - 甲殻類 [1]	2000 mg/l Test organisms (species): Daphnia magna
EC50 - 甲殻類 [2]	212 mg/l Test organisms (species): Daphnia magna
α-Amylase (Bacillus licheniformis) (9000-85-5)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	6.36 Source: EPISUITE
Sodium azide (26628-22-8)	
水生環境有害性 短期 (急性)	藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) での96時間ErC50=348µg/L (AQUIRE, 2010) であることから、区分1とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	急性毒性区分1であり、急速分解性がない (直接測定 (HPLC) による分解度 : 1% (既存点検, 2000) ) ことから、区分1とした。
LC50 - 魚 [1]	2.75 – 3.28 mg/l (Equivalent or similar to OECD 203, 96 h, Oncorhynchus mykiss, Flow-through system, Fresh water, Experimental value)
EC50 - 甲殻類 [1]	4.2 mg/l
EC50 - 他の水生生物 [1]	5 mg/l Test organisms (species): Gammarus fasciatus
EC50 96h - 藻類 [1]	0.35 mg/l (Equivalent or similar to OECD 201, Pseudokirchneriella subcapitata, Static system, Fresh water, Experimental value, Cell numbers)
ErC50 藻類	0.348 mg/l
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.16 Source: NIOSH
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	2.63 (log Koc, Calculated value)

#### 残留性・分解性

β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 1)	
残留性・分解性	急速分解性でない
Amylase, gluco- (9032-08-0)	
残留性・分解性	急速分解性でない
Endo-Inulinase (9001-57-4)	
残留性・分解性	急速分解性でない
α-Amylase (Bacillus licheniformis) (9000-85-5)	
残留性・分解性	急速分解性でない
Sodium azide (26628-22-8)	
残留性・分解性	Biodegradability: not applicable.
化学的酸素要求量(COD)	Not applicable (inorganic)

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Sodium azide (26628-22-8)	
ThOD	Not applicable (inorganic)

### 生体蓄積性

β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 1)	
生体蓄積性	データなし

α-Amylase (Bacillus licheniformis) (9000-85-5)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	6.36 Source: EPISUITE

Sodium azide (26628-22-8)	
生体蓄積性	Not bioaccumulative。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.16 Source: NIOSH
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	2.63 (log Koc, Calculated value)

### 土壌中の移動性

β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 1)	
土壌中の移動性	データなし

α-Amylase (Bacillus licheniformis) (9000-85-5)	
土壌中の移動性	5556000 Source: EPISUITE
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	6.36 Source: EPISUITE

Sodium azide (26628-22-8)	
表面張力	No data available (test not performed)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.16 Source: NIOSH
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	2.63 (log Koc, Calculated value)
生態系 - 土壌	Low potential for adsorption in soil。

### オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

## 13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法	: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。
残余廃棄物	: 本製品の廃棄物は、製品自体と同様に有害であり、環境への影響も同様に考慮する必要がある。 廃棄物の管理および処理は、製品本体で定められた方法に従うこと。
地域の廃棄規則	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報	: 空の容器を再利用しない。

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 1)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

### 14. 輸送上の注意

#### 国際規制

UN RTDGに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)	
国連番号	
輸送規則の定義上危険物に該当しない。	
国連正式品名	
	規制されていない
輸送危険物分類	
	規制されていない
容器等級	
	規制されていない
環境有害性	
	規制されていない

#### MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

#### 国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

### 15. 適用法令

#### 国内法令

海洋汚染防止法 : 有害でない物質（施行令別表第1の2）  
有害液体物質（Z類物質）（施行令別表第1）  
労働基準法 : 疾病化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1）

### 16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしてはいるが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 2)  
製品タイプ : Megazyme -- [Megazyme]  
製品コード : K-YBGL (Bottle 2)

### 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 分析用薬剤、化学研究及び開発

### 会社情報

#### 仕入先

Megazyme

A98 YV29

IrelandCounty WicklowBrayBray Business Park

T +353 12861220 - F +353 12861264

[cs@megazyme.com](mailto:cs@megazyme.com) - [www.megazyme.com](http://www.megazyme.com)

#### 輸入業者

ネオジェンジャパン株式会社

220-0012

神奈川県横浜市西区みなとみらい3-3-3横浜コネクトスクエア12  
階

T 045-211-4615

### 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : +353 12861220 [9 am to 5 pm GMT - Monday to Friday]

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

#### 物理化学的危険性

爆発物	分類できない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	分類できない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	分類できない
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類できない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	区分に該当しない
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性化学品	区分1
鈍性化爆発物	分類できない

#### 健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	区分4
急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分2

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 2)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分に該当しない
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

### ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 危険

危険有害性 (GHS JP)

: 金属腐食のおそれ (H290)

皮膚に接触すると有害 (H312)

皮膚刺激 (H315)

重篤な眼の損傷 (H318)

注意書き (GHS JP)

安全対策

: 他の容器に移し替えないこと。(P234)

取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。(P264)

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

応急措置

: 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。(P302+P352)

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

(P305+P351+P338)

直ちに医師に連絡すること。(P310)

気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)

特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。(P321)

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。(P332+P313)

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)

物的損傷を防止するためにも流出したものを回収すること。(P390)

廃棄

: 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

: 混合物

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
Sodium hydroxide pellets	≥ 1 - < 5	(1)-410	既存化学物質	1310-73-2

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 2)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
4-hydroxybenzoic acid	≥ 1 - < 5	-	-	99-96-7
Sodium azide	< 0.1	(1)-482	既存化学物質	26628-22-8

### 4. 応急措置

#### 応急措置

- 応急措置 一般 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。  
汚染された衣類を脱ぐこと。  
皮膚刺激が生じた場合 : 医師の診断 / 手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
直ちに医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 応急措置をする者の保護 : 応急措置を行う者は、自身の保護に注意を払い、推奨される個人用保護具を使用すること (第8項を参照)。

#### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

- 症状/損傷 吸入した場合 : 通常の条件下では特に無し。
- 症状/損傷 皮膚に付着した場合 : 皮膚に接触すると有害。  
刺激性。
- 症状/損傷 眼に入った場合 : 眼に重度の損傷を与える。
- 症状/損傷 飲み込んだ場合 : 通常の条件下では特に無し。

#### 医師に対する特別な注意事項

- その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

### 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。
- 火災危険性 : 火災の危険は一切ない。
- 爆発の危険 : 直接に爆発する危険は全くない。
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
- 消火方法 : 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。  
呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。  
自給式呼吸器。  
完全防護服。

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 2)

JIS Z 7253: 2019に準拠

### 6. 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置 : 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。  
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。  
物的損傷を防止するためにも流出したものを回収すること。

#### 非緊急対応者

保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。  
応急処置 : 漏出エリアを換気する。  
皮膚、眼、あるいは衣服との接触を避ける。

#### 緊急対応者

保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。  
詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。  
応急処置 : 不要な職員を退避させる。  
安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

#### 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

#### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 砂または土により、すべての拡散した製品を吸収する。  
流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。  
可能であればリスクなく漏出をせき止める。  
浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。  
その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

技術的対策 : データなし  
安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。  
眼、皮膚、衣類につけないこと。  
個人用保護具を着用する。

接触回避 : データなし  
衛生対策 : 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
製品取扱い後には必ず手を洗う。

#### 保管

安全な保管条件 : 耐腐食性／耐腐食性内張りのある耐腐食性 容器に保管すること。  
他の容器に移し替えないこと。  
安全な容器包装材料 : データなし  
技術的対策 : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。  
混触禁止物質 : 金属類。  
容器包装材料 : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 2)

JIS Z 7253: 2019に準拠

### 8. ばく露防止及び保護措置

Sodium hydroxide pellets (1310-73-2)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	水酸化ナトリウム # Sodium hydroxide
許容濃度 上限	2 mg/m <sup>3</sup>
規則参照	許容濃度等の勧告 (2023 年度) 産衛誌 65 巻

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

#### 保護具

個人用保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。

呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

手の保護具 : 保護用手袋

眼の保護具 : 安全メガネ

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

### 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 :

臭い : データなし

pH : データなし

融点 : データなし

凝固点 : データなし

沸点 : データなし

引火点 : データなし

自然発火点 : データなし

分解温度 : データなし

可燃性 : データなし

蒸気圧 : データなし

相対密度 : データなし

密度 : データなし

相対ガス密度 : データなし

溶解度 : データなし

n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) : データなし

爆発限界 (Vol-%) : データなし

動粘性率 : データなし

粒子特性 : データなし

### 10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。

化学的安定性 : 通常の条件下では安定。

危険有害反応可能性 : 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。

避けるべき条件 : 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません (第7項参照)。

混触危険物質 : 金属。

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 2)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

危険有害な分解生成物 : 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

### 11. 有害性情報

急性毒性 (経口) : 区分に該当しない  
急性毒性 (経皮) : 皮膚に接触すると有害  
急性毒性 (吸入) : 区分に該当しない(分類対象外) (気体)  
区分に該当しない(分類対象外) (蒸気)  
分類できない (粉じん、ミスト)

β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 2)	
ATE JP (経皮)	1381.154 mg/kg BW
未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の13.5%は未知の急性毒性(経口)の成分で構成されている 混合物の96.01%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の99.91%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている
Sodium hydroxide pellets (1310-73-2)	
急性毒性 (経口)	ウサギのLD50値325 mg/kg (SIDS, 2002) のデータのみで、げっ歯類のデータがないため、分類できないとした。
急性毒性 (経皮)	データなし。
急性毒性 (吸入:気体)	GHSの定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データなし。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データなし。
LD50 経口	325 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	1350 mg/kg
4-hydroxybenzoic acid (99-96-7)	
LD50 経口 ラット	6000 mg/kg Source: OECD Screening Information Data Set
Sodium azide (26628-22-8)	
急性毒性 (経口)	ラットのLD50 = 45 mg/kg (DFGOT vol.20 (2003) ) から区分2とした。
急性毒性 (経皮)	ウサギのLD50 = 20 mg/kg (ACGIH (2001) ) から区分1とした。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データなし。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足で分類できない。なお、ラットLC50 = 37mg/m <sup>3</sup> (RTECS (2008) ) が報告されているが、ばく露時間が不明である。
LD50 経口 ラット	27 mg/kg BW (Rat, Experimental value, Oral)
LD50 経口	45 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	19 – 48 mg/kg BW (Rabbit, Inconclusive, insufficient data, Dermal)
LD50 経皮	20 mg/kg
LC50 吸入 - ラット	0.05 – 0.52 mg/l (EPA OPPTS 870.1300: Acute Inhalation Toxicity, 4 h, Rat, Male / female, Experimental value, Inhalation (dust), 14 day(s))

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 2)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

<b>Sodium azide (26628-22-8)</b>	
LC50 吸入 - ラット (粉じん/ミスト)	0.054 – 0.52 mg/l/4h
皮膚腐食性/刺激性 : 皮膚刺激	
<b>Sodium hydroxide pellets (1310-73-2)</b>	
皮膚腐食性/刺激性	ブタの腹部に2N (8%)、4N (16%)、6N (24%) 溶液を適用した試験で、大きな水疱が15分以内に現れ、8%および16%溶液は全表皮層に重度の壊死を生じ、24%溶液においては皮下組織の深部に至る壊死を伴う無数かつ重度の水疱が生じたとの報告 (SIDS (2009))、およびウサギ皮膚に5%水溶液を4時間適用した場合に重度の壊死を起こしたとの報告 (ACGIH (7th, 2001)) に基づき区分1とした。なお、pHは12 (0.05% w/w) (Merck (14th, 2006)) である。また、ヒトへの影響では、皮膚に対して0.5%-4%溶液で皮膚刺激があり、0.5%溶液を用いた試験でボランティアの55および61%に皮膚刺激あったとの報告 (SIDS (2009)) がある。EU分類ではC、R35に分類されている。
<b>Sodium azide (26628-22-8)</b>	
皮膚腐食性/刺激性	ウサギの皮膚に適用した試験の結果、適用4時間後に腐食性を示し、6匹中3匹が死亡したとの報告 (DFGOT vol.20 (2003)) に基づき区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 重篤な眼の損傷	
<b>Sodium hydroxide pellets (1310-73-2)</b>	
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	ウサギ眼に対し1.2%溶液ないし2%以上の濃度が腐食性濃度との記述 (SIDS (2009))、pHは12 (0.05% w/w) (Merck (14th, 2006)) であることから区分1とした。ヒトの事故例で高濃度の粉塵または溶液により重度の眼の障害の報告 (ACGIH (7th, 2001)) や誤って眼に入り失明に至るような報告 (DFGOT vol.12 (1999)) が多数ある。なお、皮膚に対しても腐食性を示し、EU分類ではC、R35に分類されている。
<b>Sodium azide (26628-22-8)</b>	
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	皮膚腐食性が区分1なので、眼も「区分1」とした。
呼吸器感作性 : 分類できない	
<b>Sodium hydroxide pellets (1310-73-2)</b>	
呼吸器感作性	データなし。
<b>Sodium azide (26628-22-8)</b>	
呼吸器感作性	データなし。
皮膚感作性 : 分類できない	
<b>Sodium hydroxide pellets (1310-73-2)</b>	
皮膚感作性	男性ボランティアによる皮膚感作性試験で、背中に0.063% - 1.0%溶液を塗布して誘導をかけ、7日後に0.125%溶液を再塗布したが、用量依存性の刺激増強はあったが、再塗布したパッチ面の反応の増強は認められなかった。したがって、水酸化ナトリウムには皮膚感作性がなかった。さらに、水酸化ナトリウムは長年広く使用されておき、ヒトの皮膚感作症例の報告も無いことから水酸化ナトリウムは皮膚感作性物質とは考えられないという結論 (SIDS (2009)) に基づき、区分外とした。
<b>Sodium azide (26628-22-8)</b>	
皮膚感作性	データなし。

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 2)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

生殖細胞変異原性 : 分類できない

### Sodium hydroxide pellets (1310-73-2)

生殖細胞変異原性

n vivo試験のデータとして、マウスに腹腔内投与による骨髄細胞を用いた小核試験（体細胞in vivo変異原性試験）で小核の有意な増加は観察されず（SIDS（2009））、またマウスに腹腔内投与による卵母細胞を用いた染色体異数性誘発試験（生殖細胞in vivo変異原性試験）では染色体不分離の証拠は見出されていない（SIDS（2009））。これらの結果は体細胞及び生殖細胞を用いたin vivo変異原性試験の結果が陰性であることを示しているため区分外とした。なお、in vitro変異原性試験として、Ames試験で陰性（SIDS（2009））、CHO K1細胞を用いた染色体異常試験で偽陽性（SIDS（2009））の報告がある。

### Sodium azide (26628-22-8)

生殖細胞変異原性

in vivo試験のデータがなく分類できない。なお、in vitro変異原性試験では、微生物復帰変異試験で陽性の結果（ACGIH（2001））、ヒトリンパ球またはチャイニーズハムスター卵巣細胞を用いた染色体異常試験、マウスリンパ腫細胞を用いた遺伝子突然変異試験ではいずれも陰性結果（DFGOT vol.20,（2003））であった。強い変異原性は微生物に特有のもののみなされている（DFGOT vol.20（2003））。

発がん性 : 分類できない

### Sodium hydroxide pellets (1310-73-2)

発がん性

ラットの経口投与12週間の発がん性試験で陰性（DFGOT vol.12（1999））などの報告があるがデータ不足で分類できない。

### Sodium azide (26628-22-8)

発がん性

ACGIHによりA4に分類されている（ACGIH-TLV（2005））ので「区分外」とした。なお、ラットを用いた2年間経口投与による試験で、用量依存的な体重増加抑制と高用量群における生存率の低下が見られたが、発がん性の証拠は見出されていない（NTP TR389（1991））。

生殖毒性 : 分類できない

### Sodium hydroxide pellets (1310-73-2)

生殖毒性

データなし。

### Sodium azide (26628-22-8)

生殖毒性

ハムスターの皮下に埋め込まれた浸透ミニポンプから妊娠7～9日目にばく露した結果、2/15匹が死亡、早期吸収の有意な増加、脳ヘルニアの発生が認められている（DFGOT vol.20（2003））が、併せて、証拠文書として不十分なため出生前の毒性評価には使用できないと述べられている（DFGOT vol.20（2003））。かつ、投与方法も特殊であることから「分類できない」とした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 2)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Sodium hydroxide pellets (1310-73-2)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	粉塵やミストの急性吸入暴露により粘膜刺激に続き、咳・呼吸困難などが引き起こされ、さらにばく露が強いと肺水腫やショックに陥る可能性がある (PATTY (5th, 2001)) という記述により区分1 (呼吸器) とした。なお、潮解性や極小の蒸気圧などの物理化学的特性から粉塵形成はあり得ない (SIDS (2009)) との記述もある。そのほか、誤飲28症例で、推定25-37%溶液50~200 mLにより上部消化管と食道の傷害が認められたとの報告 (SIDS (2009)) や、深刻な (誤飲) 事故や自殺症例報告は多数あり口腔から食道までの重度の腐食を引き起こしたとする記述 (DFGOT vol.12 (1999)) もある。
Sodium azide (26628-22-8)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	経口摂取による中毒事故で心臓の強い鼓動、気絶、心臓虚血を呈した5人の実験技術者の例 (NTP TR.389 (1991))、10~20gを摂取後、精神状態の変化、顕著なアシドーシス、心律動異常、心拍数低下、低血圧を招き死亡した化学者の例 (NTP TR.389 (1991))、極めて少量摂取した場合でも頻脈、過換気、低血圧を示した実験技術者の例 (HSDB (2009)) などの症例報告がある一方、本物質の標的器官は心臓血管系であり、末梢血管の拡張を起こし血圧低下を招くと記述されている (DFGOT vol.20 (2003)) ことから、区分1 (心臓血管系) とした。また、上述のヒトの事例ではさらに症状として、めまい、気絶、精神状態の変化、非心臓性の肺水腫、代謝性アシドーシスが見られ、また、本物質を数グラム摂取した自殺例 (ACGIH (2001)) の所見として、肺水腫と脳水腫の記載があることから区分1 (肺、中枢神経系、全身毒性) とした。なお、動物試験では経口投与により、ラットで心拍数低下と全身痙攣 (DFGOT vol.20 (2003))、ウサギで血圧低下と心臓障害 (PATTY (5th, 2001)) が記録されている。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 分類できない
Sodium hydroxide pellets (1310-73-2)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	経口、経皮、吸入またはその他の経路による反復ばく露の動物試験データはない (SIDS (2009)) と記述され、また、ヒトに対する影響のデータもほとんどないので、データ不足で分類できない。また、ラットでのエアゾル吸入反復ばく露で肺に障害を与えたとの記述 (ACGIH (7th, 2001)) があるが、ばく露濃度が不明のため分類できない。なお、潮解性や極小の蒸気圧などの物理化学的特性から粉塵形成はあり得ない (SIDS (2009)) との記述がある。
4-hydroxybenzoic acid (99-96-7)	
NOAEL (経口、ラット、90日)	≥ 1000 mg/kg BW Animal: rat, Animal sex: male, Guideline: OECD Guideline 422 (Combined Repeated Dose Toxicity Study with the Reproduction / Developmental Toxicity Screening Test)

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 2)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Sodium azide (26628-22-8)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットの13週間反復経口ばく露試験の最高用量（20mg/kg/day）で臨床症状として嗜眠、努力呼吸、死亡、組織学的病変として大脳と視床に壊死が観察された（NTPTR389(1991)）。さらに、2年間反復経口ばく露試験では最高用量（10mg/kg/day）で生存率の低下が見られ、この低下は試験物質ばく露に起因する脳の壊死と心血管虚脱が原因である述べられている（NTPTR389(1991)）ことから、区分1（中枢神経系、心血管系）とした。また、上記のラット13週間経口ばく露試験の20mg/kg/dayでは、肺のうっ血、出血と水腫も観察されているので区分2（肺）とした。なお、イヌの反復経口ばく露試験（1～10mg/kg/day）でも運動失調が見られ、大脳の組織形態学的変化が報告されている（HSDB(2009)）が、ヒトのばく露に関しては重大な有害影響の発生を伝える報告は特に見当たらない。
NOAEL (経口、ラット、28日)	10 mg/kg bw/day

誤えん有害性 : 分類できない

Sodium hydroxide pellets (1310-73-2)	
誤えん有害性	データなし。
動粘性率	No data available in the literature

Sodium azide (26628-22-8)	
誤えん有害性	データなし。
動粘性率	Not applicable (solid)

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

生態系 - 全般 : 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。

水生環境有害性 短期（急性） : 区分に該当しない

水生環境有害性 長期（慢性） : 区分に該当しない

Sodium hydroxide pellets (1310-73-2)	
水生環境有害性 短期（急性）	甲殻類（ネコゼミジンコ）での48時間LC50 = 40 mg/L（SIDS, 2004, 他）であることから、区分3とした。
水生環境有害性 長期（慢性）	水溶液が強塩基となることが毒性の要因と考えられるが、環境水中では緩衝作用により毒性影響が緩和されるため、区分外とした。
LC50 - 魚 [1]	189 mg/l (48 h, Leuciscus idus, Fresh water, Experimental value)
EC50 - 甲殻類 [1]	40 mg/l (48 h, Ceriodaphnia sp., Experimental value, Locomotor effect)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-3.88 Source: SRC

4-hydroxybenzoic acid (99-96-7)	
LC50 - 魚 [1]	92.8 mg/l (OECD 203: Fish, Acute Toxicity Test, 96 h, Oryzias latipes, Flow-through system, Fresh water, Experimental value, Nominal concentration)
LC50 - 魚 [2]	> 100 mg/l Test organisms (species): Oryzias latipes

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 2)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

4-hydroxybenzoic acid (99-96-7)	
EC50 - 甲殻類 [1]	67 mg/l (OECD 202: Daphnia sp. Acute Immobilisation Test, 48 h, Daphnia magna, Static system, Fresh water, Experimental value, Locomotor effect)
EC50 - 甲殻類 [2]	> 1000 mg/l Test organisms (species): Daphnia magna
EC50 72h - 藻類 [1]	68.5 mg/l Source: SIDS
EC50 72h - 藻類 [2]	> 1000 mg/l Test organisms (species): Desmodesmus subspicatus (previous name: Scenedesmus subspicatus)
ErC50 藻類	92 mg/l (OECD 201: Alga, Growth Inhibition Test, 72 h, Desmodesmus subspicatus, Static system, Fresh water, Experimental value, Nominal concentration)
NOEC (慢性)	> 100 mg/l Test organisms (species): Daphnia magna Duration: '21 d'
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.878 (Experimental value, OECD 117: Partition Coefficient (n-octanol/water), HPLC method, 22 ° C)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	1.197 – 1.328 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)
Sodium azide (26628-22-8)	
水生環境有害性 短期 (急性)	藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) での96時間ErC50=348µg/L (AQUIRE, 2010) であることから、区分1とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	急性毒性区分1であり、急速分解性がない (直接測定 (HPLC) による分解度 : 1% (既存点検, 2000) ) ことから、区分1とした。
LC50 - 魚 [1]	2.75 – 3.28 mg/l (Equivalent or similar to OECD 203, 96 h, Oncorhynchus mykiss, Flow-through system, Fresh water, Experimental value)
EC50 - 甲殻類 [1]	4.2 mg/l
EC50 - 他の水生生物 [1]	5 mg/l Test organisms (species): Gammarus fasciatus
EC50 96h - 藻類 [1]	0.35 mg/l (Equivalent or similar to OECD 201, Pseudokirchneriella subcapitata, Static system, Fresh water, Experimental value, Cell numbers)
ErC50 藻類	0.348 mg/l
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.16 Source: NIOSH
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	2.63 (log Koc, Calculated value)

### 残留性・分解性

β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 2)	
残留性・分解性	急速分解性でない
Sodium hydroxide pellets (1310-73-2)	
残留性・分解性	Biodegradability: not applicable。
化学的酸素要求量(COD)	Not applicable (inorganic)
ThOD	Not applicable (inorganic)
4-hydroxybenzoic acid (99-96-7)	
残留性・分解性	Biodegradable in the soil、 Readily biodegradable in water。
ThOD	1.623 g O <sub>2</sub> /g substance

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 2)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Sodium azide (26628-22-8)	
残留性・分解性	Biodegradability: not applicable。
化学的酸素要求量(COD)	Not applicable (inorganic)
ThOD	Not applicable (inorganic)

### 生体蓄積性

β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 2)	
生体蓄積性	データなし

Sodium hydroxide pellets (1310-73-2)	
生体蓄積性	Not bioaccumulative。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-3.88 Source: SRC

4-hydroxybenzoic acid (99-96-7)	
生体蓄積性	Low potential for bioaccumulation (Log Kow < 4)。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.878 (Experimental value, OECD 117: Partition Coefficient (n-octanol/water), HPLC method, 22 ° C)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	1.197 – 1.328 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)

Sodium azide (26628-22-8)	
生体蓄積性	Not bioaccumulative。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.16 Source: NIOSH
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	2.63 (log Koc, Calculated value)

### 土壌中の移動性

β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 2)	
土壌中の移動性	データなし

Sodium hydroxide pellets (1310-73-2)	
表面張力	No data available in the literature
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-3.88 Source: SRC
生態系 - 土壌	No (test)data on mobility of the substance available。

4-hydroxybenzoic acid (99-96-7)	
土壌中の移動性	14 – 142 Source: HSDB
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.878 (Experimental value, OECD 117: Partition Coefficient (n-octanol/water), HPLC method, 22 ° C)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	1.197 – 1.328 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)
生態系 - 土壌	Highly mobile in soil。

Sodium azide (26628-22-8)	
表面張力	No data available (test not performed)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.16 Source: NIOSH

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 2)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Sodium azide (26628-22-8)	
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	2.63 (log Koc, Calculated value)
生態系 - 土壌	Low potential for adsorption in soil.

### オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

### その他の有害な影響

## 13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法	: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。
残余廃棄物	: 本製品の廃棄物は、製品自体と同様に有害であり、環境への影響も同様に考慮する必要がある。 廃棄物の管理および処理は、製品本体で定められた方法に従うこと。
地域の廃棄規則	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報	: 空の容器を再利用しない。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

UN RTDGに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)	
国連番号	
輸送規則の定義上危険物に該当しない。	
国連正式品名	規制されていない
輸送危険物分類	規制されていない
容器等級	規制されていない
環境有害性	規制されていない

### MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

### 国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 2)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

### 15. 適用法令

#### 国内法令

労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2） 【改正後 令和9年4月1日以降】 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2） 水酸化ナトリウム（別表の番号：1122） 【改正後 令和9年4月1日以降】 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2） 水酸化ナトリウム（別表の番号：1122） 皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質（安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和7年11月18日告示第301号・第1号、厚生労働省HP皮膚等障害化学物質の一覧）
水質汚濁防止法	: 指定物質（法第2条第4項、施行令第3条の3）
海洋汚染防止法	: 有害でない物質（施行令別表第1の2） 有害液体物質（Y類物質）（施行令別表第1）
労働基準法	: 疾病化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1）

### 16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 3)  
製品タイプ : Megazyme -- [Megazyme]  
製品コード : K-YBGL (Bottle 3)

### 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 分析用薬剤、化学研究及び開発

### 会社情報

#### 仕入先

Megazyme

A98 YV29

IrelandCounty WicklowBrayBray Business Park

T +353 12861220 - F +353 12861264

[cs@megazyme.com](mailto:cs@megazyme.com) - [www.megazyme.com](http://www.megazyme.com)

#### 輸入業者

ネオジェンジャパン株式会社

220-0012

神奈川県横浜市西区みなとみらい3-3-3横浜コネクトスクエア12  
階

T 045-211-4615

### 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : +353 12861220 [9 am to 5 pm GMT - Monday to Friday]

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

#### 物理化学的危険性

爆発物	分類できない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	分類できない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	分類できない

#### 健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	分類できない
急性毒性 (経皮)	分類できない
急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分2

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 3)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2
	呼吸器感作性	区分1
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分3
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分3
	オゾン層への有害性	分類できない

### ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 危険

危険有害性 (GHS JP)

: 皮膚刺激 (H315)

強い眼刺激 (H319)

吸入するとアレルギー、ぜん (喘) 息又は呼吸困難を起こすおそれ (H334)

長期継続的影響によって水生生物に有害 (H412)

注意書き (GHS JP)

安全対策

: 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレアの吸入を避けること。(P261)

取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。(P264)

環境への放出を避けること。(P273)

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

[換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。(P284)

応急措置

: 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。(P302+P352)

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

(P304+P340)

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

(P305+P351+P338)

特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。(P321)

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。(P332+P313)

眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。(P337+P313)

呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。(P342+P311)

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)

廃棄

: 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

: 混合物

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 3)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
glucose oxidase	≥ 15 - < 25	-	-	9001-37-0
Peroxidase, from horseradish	≥ 1 - < 5	-	-	9003-99-0
4-aminoantipyrine	≥ 10 - < 15	-	-	83-07-8

### 4. 応急措置

#### 応急措置

応急措置 一般

: 気分が悪いときは医師に連絡すること。

吸入した場合

: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
呼吸器系疾患を発症した場合: 毒物センターまたは医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合

: 皮膚は多量の水で洗浄する。  
汚染された衣類を脱ぐこと。  
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

: 水で数分間注意深く洗うこと。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

: 気分が悪いときは医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

: 応急措置を行う者は、自身の保護に注意を払い、推奨される個人用保護具を使用すること（第8項を参照）。

#### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合

: 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。

症状/損傷 皮膚に付着した場合

: 刺激性。

症状/損傷 眼に入った場合

: 眼刺激。

症状/損傷 飲み込んだ場合

: 通常の条件下では特に無し。

#### 医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療

: 対症的に治療すること。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤

: 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤

使ってはならない消火剤

: 強い水流は使用しない。

火災危険性

: 火災の危険は一切ない。

爆発の危険

: 直接に爆発する危険は全くない。

火災時の危険有害性分解生成物

: 有毒な煙を放出する可能性がある。

消火方法

: 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。  
呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。

消火時の保護具

: 適切な保護具を着用して作業する。  
自給式呼吸器。  
完全防護服。

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 3)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

### 6. 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置 : 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。  
物的損傷を防止するためにも流出したものを回収すること。

#### 非緊急対応者

保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。  
応急処置 : 漏出エリアを換気する。  
皮膚、眼との接触を避ける。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避けること。

#### 緊急対応者

保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。  
詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。  
応急処置 : 不要な職員を退避させる。

#### 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

#### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 漏出物を回収すること。  
浄化方法 : 製品は機械的に回収する。  
その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

技術的対策 : データなし  
安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。  
皮膚、眼との接触を避ける。  
個人用保護具を着用する。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避けること。

接触回避 : データなし

衛生対策 : 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
製品取扱い後には必ず手を洗う。

#### 保管

安全な保管条件 : 涼しいところに置き、日光から遮断すること。  
安全な容器包装材料 : データなし  
技術的対策 : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。  
容器包装材料 : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

### 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

#### 保護具

個人用保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。  
呼吸用保護具 : [換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 3)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

手の保護具	: 保護用手袋
眼の保護具	: 安全メガネ
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣を着用する。
環境へのばく露の制限と監視	: 環境への放出を避けること。

### 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体
色	:
臭い	: データなし
pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (Vol-%)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

### 10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

### 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 3)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 3)	
未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の20.15%は未知の急性毒性(経口)の成分で構成されている 混合物の100%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の100%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている

glucose oxidase (9001-37-0)	
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg BW (OECD 420: Acute Oral toxicity - Acute Toxic Class Method, Rat, Male / female, Experimental value, Oral)

4-aminoantipyrine (83-07-8)	
LD50 経口 ラット	1700 mg/kg (Rat, Literature study, Oral)

皮膚腐食性／刺激性	: 皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 強い眼刺激
呼吸器感受性	: 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ
皮膚感受性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

生態系 - 全般	: 水生生物に有害、長期継続的影響によって水生生物に有害。
水生環境有害性 短期（急性）	: 水生生物に有害
水生環境有害性 長期（慢性）	: 長期継続的影響によって水生生物に有害

glucose oxidase (9001-37-0)	
EC50 - 甲殻類 [1]	95 mg/l Test organisms (species): Daphnia magna
EC50 - 甲殻類 [2]	26.2 mg/l Test organisms (species): Daphnia magna

Peroxidase, from horseradish (9003-99-0)	
EC50 - 甲殻類 [1]	26.2 mg/l (OECD 202: Daphnia sp. Acute Immobilisation Test, 48 h, Daphnia magna, Static system, Fresh water, Experimental value, GLP)
EC50 - 甲殻類 [2]	26.2 mg/l Test organisms (species): Daphnia magna
ErC50 藻類	176.6 mg/l (OECD 201: Alga, Growth Inhibition Test, 72 h, Scenedesmus sp., Static system, Fresh water, Experimental value, GLP)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-1.3 (Practical experience/observation, Equivalent or similar to OECD 107, 20 °C)

4-aminoantipyrine (83-07-8)	
LC50 - 魚 [1]	6.437 mg/l Source: ECOSAR
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-0.07 (Estimated value)

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 3)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

### 残留性・分解性

β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 3)	
残留性・分解性	急速分解性でない
glucose oxidase (9001-37-0)	
残留性・分解性	Readily biodegradable in water。
Peroxidase, from horseradish (9003-99-0)	
残留性・分解性	Readily biodegradable in water。
4-aminoantipyrine (83-07-8)	
残留性・分解性	Biodegradability in water: no data available。

### 生体蓄積性

β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 3)	
生体蓄積性	データなし
glucose oxidase (9001-37-0)	
生体蓄積性	No bioaccumulation data available。
Peroxidase, from horseradish (9003-99-0)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-1.3 (Practical experience/observation, Equivalent or similar to OECD 107, 20 °C)
4-aminoantipyrine (83-07-8)	
生体蓄積性	Not bioaccumulative。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-0.07 (Estimated value)

### 土壌中の移動性

β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 3)	
土壌中の移動性	データなし
Peroxidase, from horseradish (9003-99-0)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-1.3 (Practical experience/observation, Equivalent or similar to OECD 107, 20 °C)
4-aminoantipyrine (83-07-8)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-0.07 (Estimated value)
生態系 - 土壌	No (test)data on mobility of the substance available。

### オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

## 13. 廃棄上の注意

- 推奨製品/梱包処分 : 固体廃棄物については適用法令を遵守する。  
管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
- 廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 3)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

残余廃棄物	: 本製品の廃棄物は、製品自体と同様に有害であり、環境への影響も同様に考慮する必要がある。 廃棄物の管理および処理は、製品本体で定められた方法に従うこと。
地域の廃棄規則	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報	: 空の容器を再利用しない。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

UN RTDGに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)
国連番号
輸送規則の定義上危険物に該当しない。
国連正式品名
規制されていない
輸送危険物分類
規制されていない
容器等級
規制されていない
環境有害性
規制されていない

### MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

### 国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

## 15. 適用法令

### 国内法令

データなし

## 16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 4)  
製品タイプ : Megazyme -- [Megazyme]  
製品コード : K-YBGL (Bottle 4)

### 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 分析用薬剤、化学研究及び開発

### 会社情報

#### 仕入先

Megazyme

A98 YV29

IrelandCounty WicklowBrayBray Business Park

T +353 12861220 - F +353 12861264

[cs@megazyme.com](mailto:cs@megazyme.com) - [www.megazyme.com](http://www.megazyme.com)

#### 輸入業者

ネオジェンジャパン株式会社

220-0012

神奈川県横浜市西区みなとみらい3-3-3横浜コネクトスクエア12  
階

T 045-211-4615

### 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : +353 12861220 [9 am to 5 pm GMT - Monday to Friday]

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

#### 物理化学的危険性

爆発物	分類できない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	分類できない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	分類できない
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類できない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	区分に該当しない
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	分類できない

#### 健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	分類できない
急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 4)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分に該当しない
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
Benzoic acid	≥ 0.1 - < 0.5	(3)-1397	既存化学物質	65-85-0

### 4. 応急措置

#### 応急措置

応急措置 一般	: 気分が悪い場合は医師の診察を受ける。
吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合	: 予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合	: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護	: 応急措置を行う者は、自身の保護に注意を払い、推奨される個人用保護具を使用すること (第8項を参照)。

#### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合	: 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 皮膚に付着した場合	: 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 眼に入った場合	: 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 飲み込んだ場合	: 通常の条件下では特に無し。

#### 医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	: 強い水流は使用しない。
火災危険性	: 火災の危険は一切ない。

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 4)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

爆発の危険	: 直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物	: 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法	: 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	: 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。 物的損傷を防止するためにも流出したものを回収すること。
-------	--

### 非緊急対応者

保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置	: 漏出エリアを換気する。

### 緊急対応者

保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置	: 不要な職員を退避させる。 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

### 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	: 環境への放出を避けること。
------------	-----------------

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法	: 砂または土により、すべての拡散した製品を吸収する。 流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。 可能であればリスクなく漏出をせき止める。
浄化方法	: 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
その他の情報	: 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策	: データなし
安全取扱注意事項	: 作業所の十分な換気を確保する。 個人用保護具を着用する。
接触回避	: データなし
衛生対策	: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 製品取扱い後には必ず手を洗う。

### 保管

安全な保管条件	: 涼しいところに置き、日光から遮断すること。
安全な容器包装材料	: データなし
技術的対策	: 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
容器包装材料	: 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 4)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

### 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 作業所の十分な換気を確保する。
<b>保護具</b>	
個人用保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
呼吸用保護具	: 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。
手の保護具	: 保護用手袋
眼の保護具	: 安全メガネ
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣を着用する。
環境へのばく露の制限と監視	: 環境への放出を避けること。

### 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	:
臭い	: データなし
pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (Vol-%)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

### 10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何ともありません（第7項参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

### 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 4)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

急性毒性 (吸入) : 区分に該当しない(分類対象外) (気体)  
区分に該当しない(分類対象外) (蒸気)  
分類できない (粉じん、ミスト)

β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 4)	
未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の99.7%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の99.7%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている

Benzoic acid (65-85-0)	
急性毒性 (経口)	ラットのLD50値として、1,700 mg/kg (環境省リスク評価第7巻：暫定的有害性評価シート (2009)、SIDS (2004))、2,530 mg/kg、2,565 mg/kg (SIDS (2004))、2,700mg/kg (JECFA FAS5 (1974))、3,040 mg/kg (SIDS (2004)、CICAD 26 (2005))の報告がある。該当数の多い区分外とした。
急性毒性 (経皮)	ウサギのLD50値として、> 2,000 mg/kg、> 5,000 mg/kg (SIDS (2004))、> 10,000 mg/kg (SIDS (2004)、CICAD 26 (2005))の報告に基づき、区分外とした。
急性毒性 (吸入:気体)	GHSの定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	GHSの定義における固体である。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	ラットの4時吸入ばく露におけるLC50値 > 12.2 mg/L (SIDS (2004))に基づき区分外とした。なお、LC50値は飽和蒸気圧濃度 (0.005 mg/L) 以上であり、試験は粉じんで行われたとの記載に基づき、mg/Lを単位とする基準値を適用した。
LD50 経口 ラット	2565 mg/kg BW (OECD 401: Acute Oral Toxicity, Rat, Male / female, Experimental value, Oral, 14 day(s))
LD50 経口	2530 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	> 2000 mg/kg (24 h, Rabbit, Male / female, Experimental value, Dermal, 14 day(s))
LD50 経皮	10000 mg/kg
LC50 吸入 - ラット	> 12.2 mg/l air (4 h, Rat, Male / female, Experimental value, Inhalation (dust), 14 day(s))
LC50 吸入 - ラット (粉じん/ミスト)	12.2 mg/l/4h

皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない

Benzoic acid (65-85-0)	
皮膚腐食性/刺激性	SIDS (2004) には、テストガイドラインに準拠した試験で「軽度の刺激性」又は「刺激性なし」と報告されている。一方、エタノール又はクリームに0.05%含有する本物質を用いたパッチテストで614人中18人で刺激性がみられたとする報告やワセリンに0.5%含有する本物質を用いたパッチテストで32人中7人で蕁麻疹がみられたとの報告があるため、分類できないとした。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 分類できない

Benzoic acid (65-85-0)	
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	SIDS (2004) において、テストガイドラインに準拠した試験で「重度の刺激性」又は「腐食性」と報告されていることから、区分1とした。

呼吸器感作性 : 分類できない

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 4)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

### Benzoic acid (65-85-0)

呼吸器感作性

データ不足のため分類できない。

皮膚感作性

: 分類できない

### Benzoic acid (65-85-0)

皮膚感作性

SIDS (2004) には、テストガイドラインに準拠した試験で「感作性なしとするデータが多数報告されている。一方、ヒトへの影響としては、ワセリンに0.5%含有する本物質を用いたパッチテストで32人中7人で蕁麻疹がみられたとの報告 (SIDS (2004))、皮膚科の患者2,045人に、5%濃度の本物質Na 塩でパッチテストを行った結果、陽性反応のみられたのは5人 (0.2%) のみであったとする報告や、化粧品に対してアレルギーや刺激症状があると考えられる患者5,202人に本物質でパッチテストを行った結果、34人 (0.7%) で陽性反応がみられたとする報告など、感作性ありとする報告が多数がある (環境省リスク評価第7巻: 暫定的有害性評価シート (2009))。しかし、SIDS (2004) では、健康なヒトでは感作は起こり難いと結論していることから、分類できないとした。

生殖細胞変異原性

: 分類できない

### Benzoic acid (65-85-0)

生殖細胞変異原性

データ不足のため分類できない。すなわち、本物質に関するin vivoデータはなく、in vitroでは、細菌の復帰突然変異試験、哺乳類培養細胞の染色体異常試験で陰性である (SIDS (2004)、CICAD 26 (2000)、JECFA FAS 48 (2002))。ただし、SIDS (2004) では、本物質及びその関連物質である安息香酸ナトリウム、安息香酸カリウム、ベンジルアルコールを含め、突然変異性及び染色体異常誘発性はないと記載している。

発がん性

: 分類できない

### Benzoic acid (65-85-0)

発がん性

本物質は、EPAでグループD (IRIS (1991)) のため、分類できないとした。

生殖毒性

: 分類できない

### Benzoic acid (65-85-0)

生殖毒性

ラットを用いた経口経路 (混餌) での4世代生殖毒性試験において生殖・発生毒性はみられていない (SIDS (2004)、CICAD 26 (2000)、環境省リスク評価第7巻: 暫定的有害性評価シート (2009)、HSDB (Access on September 2013))。また、発生毒性に関しては、ラットを用いた経口経路 (強制) での発生毒性試験において胚吸収の増加がみられた (HSDB (Access on September 2013)) との報告と発生毒性はみられていない (SIDS (2004)、CICAD 26 (2000)、環境省リスク評価第7巻: 暫定的有害性評価シート (2009) との報告、ハムスターを用いた経口経路 (強制) での発生毒性試験において胚吸収の増加と奇形の増加がみられている (HSDB (Access on September 2013) との報告がある。発生毒性がみられたとの報告がリスト2の情報源からのみであることから、区分2とした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

: 分類できない

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 4)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Benzoic acid (65-85-0)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。なお、ラットの経口投与においてガイダンス区分2の用量（1,984 mg/kg）で体重増加に影響は見られなかったとの記載がある（SIDS（2004））。CICAD 26（2000）にはラットの経口経路（投与量不明）において下痢、筋力低下、振戦、自発運動の低下、衰弱がみられたとの記載がある。またラットの吸入ばく露（粉じん）においてはガイダンスの範囲外の濃度（12.2 mg/L）において一時的な自発運動の亢進や流涎がみられたが、後に回復した（SIDS（2004））との記載がある。ウサギの経皮ばく露においてはLD50 > 2,000 mg/kgとあるが明確な毒性症状について記載がない。以上の結果から、区分の判断に足る所見がないことからデータ不足のため分類できないとした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない

Benzoic acid (65-85-0)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットの経口ばく露及びウサギの経皮ばく露では区分2のガイダンス値を上回る用量においても毒性所見は見られていない（SIDS（2004）、CICAD 26（2000）、IUCLID（2000））。一方、ラットに本物質エアロゾルを4週間吸入ばく露した試験では、区分2のガイダンス値の範囲内（ガイダンス値換算濃度：0.078 mg/L）の濃度で上気道の炎症、腎臓重量の減少が見られている（SIDS（2004）、CICAD 26（2000）、IUCLID（2000）、HSDB（Access on October 2013））が、腎臓は病理組織変化を伴っておらず、標的臓器とするには不十分であると判断した。以上の結果から、区分2（上気道）とした。
NOAEL (経口、ラット、90日)	2620 mg/kg bw/day
NOAEL (経皮、ラット/ウサギ、90日)	> 2500 mg/kg BW Animal: rabbit, Guideline: EPA OPP 82-2 (Repeated Dose Dermal Toxicity -21/28 Days)
NOAEC (吸入、ラット、粉じん/ミスト/煙、90日)	≤ 0.025 mg/l air Animal: rat, Guideline: OECD Guideline 412 (Subacute Inhalation Toxicity: 28-Day Study)

誤えん有害性 : 分類できない

Benzoic acid (65-85-0)	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。
動粘性率	Not applicable (solid)

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

生態系 - 全般 : 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。

水生環境有害性 短期（急性） : 区分に該当しない

水生環境有害性 長期（慢性） : 区分に該当しない

Benzoic acid (65-85-0)	
水生環境有害性 短期（急性）	魚類（ブルーギル）の96時間LC50 = 44.6 mg/L（SIDS, 2004）から区分3とした。

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 4)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Benzoic acid (65-85-0)	
水生環境有害性 長期 (慢性)	信頼性のある慢性毒性データが得られていない。急速分解性があり (2週間でのBOD分解度=85% (既存点検, 1979) )、急性毒性は区分3であるが、生物濃縮性が低いと推測される (LogP=1.88 (SIDS, 2004) ) ことから、区分外とした。
LC50 - 魚 [1]	47.3 mg/l (EPA 660/3 - 75/009, 96 h, Oncorhynchus mykiss, Static system, Fresh water, Experimental value, Nominal concentration)
LC50 - 魚 [2]	44.6 mg/l Test organisms (species): Lepomis macrochirus
EC50 72h - 藻類 [1]	> 33.1 mg/l Test organisms (species): Raphidocelis subcapitata (previous names: Pseudokirchneriella subcapitata, Selenastrum capricornutum)
ErC50 藻類	> 33.1 mg/l (OECD 201: Alga, Growth Inhibition Test, 72 h, Pseudokirchneriella subcapitata, Static system, Fresh water, Experimental value, GLP)
NOEC (慢性)	≥ 25 mg/l Test organisms (species): Daphnia magna Duration: '21 d'
NOEC 魚 慢性	> 120 mg/l
NOEC 甲殻類 慢性	> 25 mg/l
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	1.88 (Experimental value)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	1.19 – 1.219 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)

### 残留性・分解性

β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 4)	
残留性・分解性	急速分解性でない
Benzoic acid (65-85-0)	
残留性・分解性	Readily biodegradable in water。
生化学的酸素要求量(BOD)	1.3 g O <sub>2</sub> /g substance
化学的酸素要求量(COD)	1.95 g O <sub>2</sub> /g substance
ThOD	1.96 g O <sub>2</sub> /g substance

### 生体蓄積性

β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 4)	
生体蓄積性	データなし
Benzoic acid (65-85-0)	
生体蓄積性	Low potential for bioaccumulation (Log Kow < 4)。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	1.88 (Experimental value)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	1.19 – 1.219 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)

### 土壌中の移動性

β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 4)	
土壌中の移動性	データなし

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 4)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Benzoic acid (65-85-0)	
表面張力	67.5 mN/m (20 °C, 1 g/l, OECD 115: Surface Tension of Aqueous Solutions)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	1.88 (Experimental value)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	1.19 – 1.219 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)
生態系 - 土壌	Highly mobile in soil.

### オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

## 13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法	: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。
残余廃棄物	: 本製品の廃棄物は、製品自体と同様に有害であり、環境への影響も同様に考慮する必要がある。 廃棄物の管理および処理は、製品本体で定められた方法に従うこと。
地域の廃棄規則	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報	: 空の容器を再利用しない。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

UN RTDGに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)	
国連番号	
輸送規則の定義上危険物に該当しない。	
国連正式品名	規制されていない
輸送危険物分類	規制されていない
容器等級	規制されていない
環境有害性	規制されていない

### MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

### 国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 4)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

### 15. 適用法令

#### 国内法令

- 労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2）  
安息香酸（別表の番号：147）  
【改正後 令和9年4月1日以降】  
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2）  
安息香酸（別表の番号：147）
- 海洋汚染防止法 : 有害でない物質（施行令別表第1の2）

### 16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 5)  
製品タイプ : Megazyme -- [Megazyme]  
製品コード : K-YBGL (Bottle 5)

### 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 分析用薬剤、化学研究及び開発

### 会社情報

#### 仕入先

Megazyme

A98 YV29

IrelandCounty WicklowBrayBray Business Park

T +353 12861220 - F +353 12861264

[cs@megazyme.com](mailto:cs@megazyme.com) - [www.megazyme.com](http://www.megazyme.com)

#### 輸入業者

ネオジェンジャパン株式会社

220-0012

神奈川県横浜市西区みなとみらい3-3-3横浜コネクトスクエア12  
階

T 045-211-4615

### 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : +353 12861220 [9 am to 5 pm GMT - Monday to Friday]

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

#### 物理化学的危険性

爆発物	分類できない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	分類できない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	分類できない

#### 健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 5)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分に該当しない
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	分類できない
	水生環境有害性 長期 (慢性)	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 物質

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
Yeast Extract (pure autolysate) w/o salt-Type D	100	-	-	84604-16-0

### 4. 応急措置

#### 応急措置

応急措置 一般	: 気分が悪い場合は医師の診察を受ける。
吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合	: 予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合	: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護	: 応急措置を行う者は、自身の保護に注意を払い、推奨される個人用保護具を使用すること (第8項を参照)。

#### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合	: 通常の条件下では特に無し。 本製品から発生しうる粉じんは、吸い込み過ぎると呼吸器の炎症を引き起こす場合がある。
症状/損傷 皮膚に付着した場合	: 通常の条件下では特に無し。 粉じんは皮膚のひだまたは密着した衣服に接触することで刺激を起こすことがある。
症状/損傷 眼に入った場合	: 通常の条件下では特に無し。 本製品の粉じんは、目の炎症を引き起こす場合がある。
症状/損傷 飲み込んだ場合	: 通常の条件下では特に無し。

#### 医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療	: 対症的に治療すること。
-------------------	---------------

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 5)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤
使ってはならない消火剤	: 強い水流は使用しない。
火災危険性	: 火災の危険は一切ない。
爆発の危険	: 直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物	: 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法	: 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

### 6. 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	: 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。 物的損傷を防止するためにも流出したものを回収すること。
-------	--

#### 非緊急対応者

保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置	: 漏出エリアを換気する。

#### 緊急対応者

保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置	: 不要な職員を退避させる。

#### 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	: 環境への放出を避けること。
------------	-----------------

#### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法	: 清潔なショベルを使用して、ドライコンテナに物質を入れ、圧縮せずに覆います。
浄化方法	: 製品は機械的に回収する。
その他の情報	: 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

技術的対策	: データなし
安全取扱注意事項	: 作業所の十分な換気を確保する。 個人用保護具を着用する。
接触回避	: データなし
衛生対策	: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 製品取扱い後には必ず手を洗う。

#### 保管

安全な保管条件	: 涼しいところに置き、日光から遮断すること。
安全な容器包装材料	: データなし

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 5)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

技術的対策 : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。  
容器包装材料 : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

### 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。  
**保護具**  
個人用保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。  
呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。  
手の保護具 : 保護用手袋  
眼の保護具 : 安全メガネ  
皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。  
環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

### 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体  
色 :  
臭い : データなし  
pH : データなし  
融点 : データなし  
凝固点 : データなし  
沸点 : データなし  
引火点 : データなし  
自然発火点 : データなし  
分解温度 : データなし  
可燃性 : データなし  
蒸気圧 : データなし  
相対密度 : データなし  
密度 : データなし  
相対ガス密度 : データなし  
溶解度 : データなし  
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) : データなし  
爆発限界 (Vol-%) : データなし  
動粘性率 : データなし  
粒子特性 : データなし

### 10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。  
化学的安定性 : 通常の条件下では安定。  
危険有害反応可能性 : 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。  
避けるべき条件 : 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。  
混触危険物質 : データなし  
危険有害な分解生成物 : 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 5)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

### 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	: 区分に該当しない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 5)	
未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の100%は未知の急性毒性(経口)の成分で構成されている 混合物の100%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の100%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている
Yeast Extract (pure autolysate) w/o salt-Type D (84604-16-0)	
LD50 経口	> 2000 mg/kg
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg BW Animal: rat, Guideline: OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity), Guideline: EU Method B.3 (Acute Toxicity (Dermal)), Guideline: EPA OPPTS 870.1200 (Acute Dermal Toxicity), Guideline: other:

皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 分類できない
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分に該当しない

Yeast Extract (pure autolysate) w/o salt-Type D (84604-16-0)	
NOAEL (経口、ラット、90日)	2000 mg/kg BW Animal: rat, Animal sex: female, Guideline: OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity Study in Rodents)

誤えん有害性 : 分類できない

Yeast Extract (pure autolysate) w/o salt-Type D (84604-16-0)	
動粘性率	149.18 mm <sup>2</sup> /s

### 12. 環境影響情報

#### 生態毒性

生態系 - 全般	: 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性 短期 (急性)	: 分類できない
水生環境有害性 長期 (慢性)	: 分類できない

#### 残留性・分解性

β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 5)	
残留性・分解性	急速分解性でない

# 安全データシート

## β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 5)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

### Yeast Extract (pure autolysate) w/o salt-Type D (84604-16-0)

残留性・分解性	急速分解性でない
---------	----------

#### 生体蓄積性

### β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 5)

生体蓄積性	データなし
-------	-------

#### 土壤中の移動性

### β-Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 5)

土壤中の移動性	データなし
---------	-------

#### オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

## 13. 廃棄上の注意

#### 推奨製品/梱包処分

: 固体廃棄物については適用法令を遵守する。

管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

#### 廃棄方法

: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。

#### 残余廃棄物

: 本製品の廃棄物は、製品自体と同様に有害であり、環境への影響も同様に考慮する必要がある。

廃棄物の管理および処理は、製品本体で定められた方法に従うこと。

#### 地域の廃棄規則

: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

#### 推奨下水処理

: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

#### 追加情報

: 空の容器を再利用しない。

## 14. 輸送上の注意

#### 国際規制

UN RTDGに準ずる

### 国連勧告 (UN RTDG)

#### 国連番号

輸送規則の定義上危険物に該当しない。

#### 国連正式品名

規制されていない

#### 輸送危険物分類

規制されていない

#### 容器等級

規制されていない

#### 環境有害性

規制されていない

# 安全データシート

## $\beta$ -Glucan Assay Kit (Yeast and Mushroom) (Bottle 5)

JIS Z 7253 : 2019に準拠

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

### 15. 適用法令

国内法令

データなし

### 16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。